



生育順調で食味良好 山形県産「ハウスさくらんぼ」本格出荷！

山形県JAさがえ西村山「ハウスさくらんぼ」トップセールス

- 期日：4月21日(金)
- 場所：大田市場 東京青果(株)
- 主催：山形県、JAさがえ西村山
- 内容：山形県JA西村山産の「さくらんぼ」の紹介や試食宣伝等

■ ハウス、露地栽培ともに生育順調で食味も良好！

山形県産「さくらんぼ」の本格出荷が始まることから、産地から、寒河江市の佐藤市長、JAさがえ西村山の柴田組合長、ミスさくらんぼ等大勢の産地関係者が集まり、「ハウスさくらんぼ」のトップセールスが大田市場で盛大に開催されました。

H28年おうとうの都中央入荷量は、山形県が1位(占有率83%)で、2位以下を大きく引き離しています(群馬県は10位で占有率0.03%、747t)。今年のハウス栽培は、日射量が少なく着色がやや遅れましたが生育は順調に経過しており、平年並みの3月下旬から入荷が始まりました。出荷は、母の日を目標に生産しているため、4月末から5月中旬にかけて出回り量が多くなるとのことです。露地栽培は、年明け以降の冷え込み等でやや生育は遅れ気味ですが、その後の生育は順調に経過しており平年並みの6月上旬から始まる見込みです。

■ 超早期加温栽培で1月から出荷開始！

毎年、大田市場の初市(今年は1月5日)に合わせて山形県産の「さくらんぼ」が入荷しています。これは、超早期加温栽培で行われており、株を低温に当てる必要があるためポット栽培を行っています。夏場に7℃以下で1,650時間の低温処理が必要なため大変困難な栽培方法です。超早期加温栽培の生産者は1名ですが、山形県産の「さくらんぼ」は1月上旬～7月下旬まで長期にわたる出荷を可能にしています。

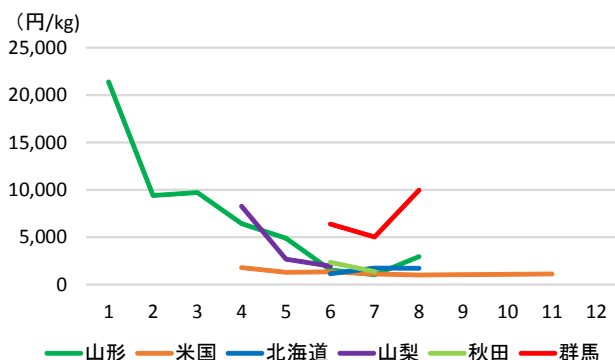
当日は、「ハウスさくらんぼ」が試食で市場関係者に提供されました。試食会場には人だかりが出来て、「甘くて食感が良いね」、「ジューシーだね」等大変好評でした。



桐箱入り等の山形県産「さくらんぼ」展示の様子



佐藤市長、柴田組合長とミスさくらんぼPRの様子



都中央における「おうとう」の月別・産地別単価 (H28)



試食宣伝の様子